

CAMPUS-VIEW

▶一年オリエンテーション
太平山神社参拝



◀初代校長佐々木周二先生寿像前に咲く桜が春の訪れを告げ、新年度が始された



▲全校生徒に東日本大震災への募金協力を語りかける
芹澤健吾高校生徒会長（対面式にて）



◀入学式を前に中庭に集う
中学新入生

東日本大震災の被災地復興を願って

四月八日（金）、生徒会活動の一環として、対面式の挨拶の場で、生徒会長・芹澤健吾くんが全校生徒に対して、東日本大震災への募金協力を呼びかけた。一週間後の一日、236231円が義捐金として集まり、日本赤十字を通して被災地に寄付した。

ニュージールランド地震 募金活動を行う

三月八日（火）～十日（木）、インターアクト部はラグビー部、中学校生徒会と協力して、ニュージールランド・クライストチャーチ地震災害への募金活動を校内外で行い、義捐金154888円を、ニュージールランド大使館を通じて被災地に寄付した。

このたびの地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。



インターアクト部の募金活動



緊急時への備え

家庭科 鈴木則子

我が家が非常用持ち出し袋を常備するようになったのは、東京大空襲で生き延びた母の教えによるものでした。更には阪神大震災で家族を亡くした友人が、崩れた家屋の中で迫り来る火の手に巻かれたという話を聞いたことで、緊急時への備えが自分や自分の家族を守るために大切だと思うようになったのです。

一つめの袋には、三日程度をしのげる生活用品と貴重品を入れていきます。すぐに持ち出せる場所に置くことで、確認と啓発になります。貴重品の中には、免許証や保険証のコピーも入れると役に立ちます。

二つめはスリッパと物置を利用し、備蓄用品を入れていきます。非常用の食料は年一回、入れ替えることになっています。その他、保温が抜群で毛布代わりにもなるアルミシートや、手回し充電ラジオ（携帯充電器）も持っておくといいです。

さらに、緊急時への備えとして大切なことは、地域で出しているハザードマップなどを利用して、家族で災害について話し合うこと、そして何より一人ひとりが「心の備え」をもつことなのです。